

2014.9.18  
vol.33

# シネマ・ド・リぶらの コラム・ド・シネマ

映画  
を  
読む

## 本日の上映作品

### 嵐が丘

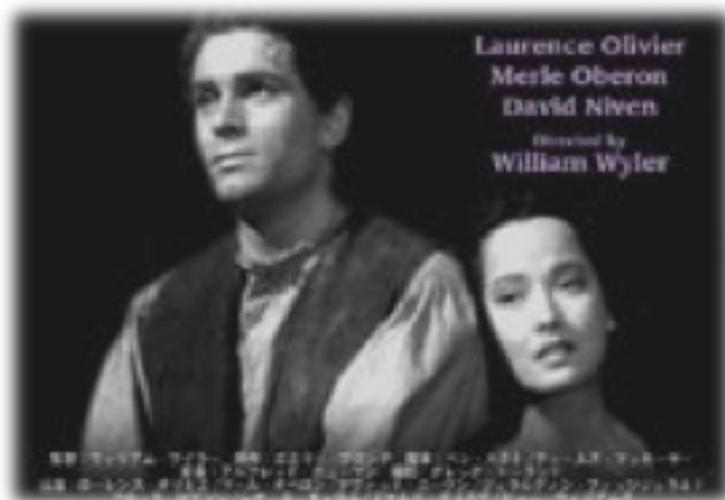
9月18日(木)

① 10:30 ~ 12:15

② 14:00 ~ 15:45

エミリー・ブロンテの原作を格調高く映画化した巨匠ワイラーの古典的名作。お互いに深く愛し合いながらも、結ばれなかった男と女の時空を越えた愛の結末……。

監督 ウィリアム・ワイラー  
出演 ローレンス・オリヴィエ  
マール・オベロン  
デヴィッド・ニーヴン  
原作 エミリー・ブロンテ  
音楽 モーリス・ジョベール  
製作 1939年 アメリカ  
上映時間 104分



## 『じんじん』上映会 開催報告

8月21日(木)リぶらホールにおいて開催され、午前の部143名、午後の部116名、夜の部109名、合計368名の方に鑑賞していただきました。午前の部では託児のご利用もあり、「企画して下さりありがとうございました。娘を託児して、ゆっくりと見られたことに感謝します。私の実家は北海道旭川でとても懐かしく、風景を見て涙が出ました。求めている愛の形が違うことで親子がすれ違ってしまふ。とても心に響きました。家に帰ったら子ども達にたくさん本を読んであげて、またゆっくりした時間を作りたいものです」という感想を書いてくださいました。

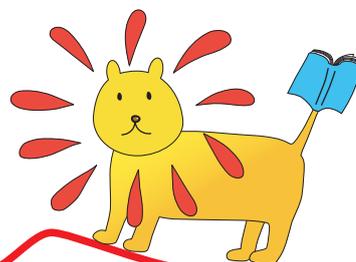
また、大地康雄さんのファンという方や、ラジオで大地さんの話を聞いたという方もいらっしゃったようです。「子

どもに伝える思いがとても感動的に描かれていました。また、子どもの心に残るものというものも考えさせられました」というように、大勢の方に「よかった」「感動した」という感想を書いていただきました。そして、「ぜひ、剣淵町へ行ってみたい!」という方も何名か。

岡崎にも、絵本や映画を通して感動を伝える活動をしている方々がいます。その拠点となっている「リぶら」での『じんじん』の上映会でした。今後も、このような企画を進めて行けたらと思います。

岡崎図書館まつり実行委員会

本日は「サロン・ド・シネマ」に替え、災害時の避難についてご案内します。  
開場後は、お席に着いてお待ち下さい。



りぶらいおん©LSC

# 映画を読む 『嵐が丘』

## ウィリアム・ワイラーの『嵐が丘』 K.M.

他に例がないほど幅広いジャンルを手がけ、鋭い人間観察ときめ細かい演出で、作品を夫々のジャンルでの一級品に仕上げたワイラー監督が、初期にどんな映画作りをしていたのかという興味でこの映画を観ました。原作の小説について、概要紹介を読んだだけの私が勝手に作り上げていた『嵐が丘』のイメージは、ヒースクリフの復讐劇という感じでしたが、ワイラー監督の『嵐が丘』から受けた印象は、ヒースクリフとキャシーの悲恋劇という感じで、少し意外でした。

何しろ分厚く濃厚なエミリー・ブロンテの小説の世界を100分そこそこに押し込めるのですから、ストーリーの展開はややダイジェスト的なところを感じましたが、シーンとしては75年前の作品という古さを全く感じさせない、素晴らしいシーンにあふれていました。中でも特に感激したのは、キャシーを演じたマーク・オベロンの演技が光った二つのシーンです。

まずはリントン家で開かれたダンスパーティーの夜のシーン。イザベラに招待されたヒースクリフが会場に現れ、キャシーが気付く。ヒースクリフがキャシーをテラスに誘い、ヒースクリフが迫るとキャシーが拒んで去る。この間オベロンが、キャシーの激しい心の動揺を、表情（特に眼）だけで表現しきった演技は素晴らしかった。

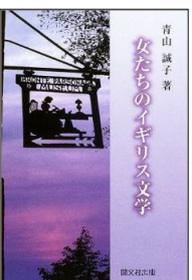
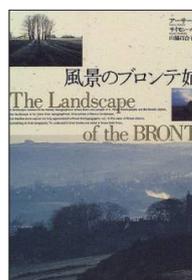
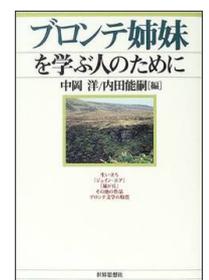
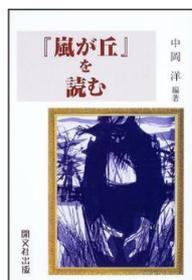
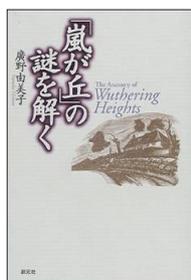
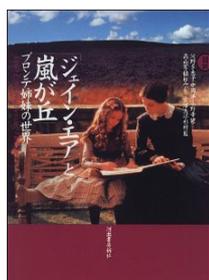
あと一つは、キャシーの病床のシーン。キャシーがエドガーに、城に咲いているヒースを摘んできて頼む。エドガーが出て行くと、入れ替わりにヒースクリフが現われる。抱き合い、責めあい、抱き合う短い激しい時間。乞われてヒースクリフがキャシーを窓際まで連れていく。二人で寄り添って思い出のペニストーン岩を見つめる。キャシーの喜びの表情が狂おしい恐ろしい表情に変わっていき、ヒースクリフに必死にしがみつく。オベロンの演技力なのかワイラーの指導力なのか、この

素晴らしいシーンで、私はいっぺんにこの作品が好きになりました。なお、悲恋物語としては仕方なかったのかもしれませんが、オリヴィエはいずれの場面でもかって良すぎると思いました。ただ彼の目力は凄味がありました。

作品を観たあとにいろいろ調べてみたら、とてもここに書ききれないくらい多くの興味深い話題にぶち当たり、得をしたような気持ちになりました。幾つか紹介します。

- ・原題の WUTHERING = 「嵐が吹き荒れる」という方言。普通の英和辞書では出てこない。
- ・『嵐が丘』の舞台の「ハワース（リヴァプールから約60キロ）」周辺へは、ファンが多く観光に訪れている。
- ・ヒースクリフ=ヒース+クリフ（断崖）=ヒースが一杯咲いている崖=ペニストーン岩
- ・ブロンテ姉妹自身も、人生の多くの時間をこの地の牧師館で過ごした。エミリーは兄の葬式の時にひいた風邪がもとで30才で早逝した。シャーロットも38歳で亡くなった。当時のその地方での平均寿命は25歳だったとか。
- ・『嵐が丘』は6度映画化されていて、日本でも1988年に吉田喜重監督が松田優作と田中裕子主演で撮っている。また1992年のピーター・コズミンスキー監督の作品では、坂本龍一が音楽を担当している。
- ・英国のシンガーソングライターのケイト・ブッシュのデビュー・シングルは「嵐が丘」でこの曲は全英で4週連続で1位を続けた。
- ・ワイラー監督の主要作品：文芸作品『嵐が丘』、ロマンチック・コメディ『ローマの休日』、サスペンス『必死の逃亡者』、西部劇『大いなる西部』、社会派ドラマ『我等の生涯の最良の年』、ミュージカル『ファニー・ガール』、スペクタクル史劇『ベン・ハー』と多彩。

『嵐が丘』	エミリー・ブロンテ	新潮社	933.6
『「嵐が丘」を読む』	中岡 洋	開文社出版	933.6
『「嵐が丘」の謎を解く』	広野 由美子	創元社	933.6
『図説「ジェイン・エア」と「嵐が丘」 ブロンテ姉妹の世界』	河野 多恵子ほか	河出書房新社	933.6
『ブロンテ家の物語』	藤野 幸雄	弥生書房	930.2
『ブロンテ姉妹』	パトリシャ・インガム	彩流社	930.2
『ブロンテ姉妹の風土』 村と荒野をめぐる逸話	エリザベス・サウスワート	風間書房	930.2
『ブロンテ姉妹を学ぶ人のために』	中岡 洋	世界思想社	930.2
『風景のブロンテ姉妹』	アーサー・ポラード	南雲堂	930.2
『ブロンテ姉妹』 女性作家たちの十九世紀	青山 誠子	朝日新聞社	930.2
『ブロンテ文学のふるさと』	中岡 洋	大阪教育図書	930.2
『ブロンテ家の人々 上・下』	ジュリエット・バーカー	彩流社	930.2
『ヴィクトリア朝の小説』 女性と結婚	内田 能嗣	英宝社	930.2
『女性たちのイギリス小説』	メリン・ウィリアムズ	南雲堂	930.2
『女たちのイギリス文学』	青山 誠子	開文社出版	930.2
『イギリス文学の旅2』 イングランド北部/スコットランド/アイルランド篇	石原 孝哉ほか	丸善	930.2
『イギリス文学探訪』	小池 滋	日本放送出版協会	930.2
『読書する女性たち』 イギリス文学・文化論集	出淵 敬子	彩流社	930.4
『買い取られた名作』	岡田 量一	彩流社	902.3



# シネマ・ド・リぶら 次回上映会のご案内

vol.  
34

## 英国王のスピーチ



10月16日(木)

① 10:30 ~ 12:30

② 14:00 ~ 16:00

エリザベス女王の父にして国民から慕われたイギリス国王ジョージ6世は、吃音症に悩みながらも、妻エリザベスの愛とスピーチセラピストのサポートで歴史的演説を成し遂げ、国民のリーダーとして、戦争という難局に立ち向かう。

監督：トム・フーパー

脚本：デヴィッド・サイドラー

出演：コリン・ファース

ジェフリー・ラッシュ

ヘレナ・ボナム＝カーター

上映時間：118分 制作年：2010年

### 『舞踏会の手帖』感想

- ・古い映画を見る機会がほとんどないので、とても新鮮な気持ちになりました。これからも古い映画やヨーロッパ・アメリカ以外の映画を上映してください。
- ・フランスのとてもおしゃれな映画。よくつくりこんだ作品で、味わい深かった。
- ・恋の思い出は思い出として残すのが最高だと思いました。過去あつての自分の人生を大切にしようと思います。
- ・彼女の過去を巡る旅は人生の悲しさ、楽しさ、おもしろさ、残酷で美しい一時、そのすべてが詰まったもの。人生の素晴らしさが伝わる。
- ・久しぶりに来ました。楽しかったです。人が多くてびっくり！ 不思議な終わり方でした。

### 今後の上映予定(毎回木曜日)

- 12月18日 『武器よさらば』
- 1月15日 『死刑台のエレベーター』
- 2月19日 『フラガール』
- 4月16日 未定

※開催日および上映作品は、変更になる場合があります。

「シネマ・ド・リぶら」の賛助サポーター  
受付中！ 年間：1口 2,000円から

託児：500円(各回6名まで)  
申込みは、1週間前までに  
市民活動センターへ。

図書館のDVD資料だけでは、無料で上映できる作品が限られています。あなたの賛助で、上映作品の幅が広がります。登録は市民活動センターへ。相談窓口：戸松 090-6574-3312